

農技セ第5517号  
令和4年9月27日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

令和4年度農作物病害虫発生予察情報について

令和4年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号を発表したので送付します。

---

### 令和4年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号

令和4年9月27日  
徳島県

- 1 病害虫名：フタテンミドリヒメヨコバイ  
学名：*Amrasca biguttula* (ISHIDA)
- 2 発生作物：オクラ
- 3 発生地域：海部郡海陽町
- 4 発生概況
  - (1) 令和4年9月、海部郡海陽町のオクラほ場において、葉の黄化及び萎縮症状が認められた(図1)。被害葉上には、翅末端に一对の黒点があるヨコバイ類の寄生が確認された(図2)。
  - (2) 虫体を採取し、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、本県では未発生の「フタテンミドリヒメヨコバイ」と確認された。
- 5 形態及び分布
  - (1) 幼虫・成虫とも新葉や茎から吸汁し、本種に吸汁された葉は黄化、萎縮され生育が抑制される。  
成虫は体長2.7~3.2mm。頭胸部は黄緑色で、翅の末端近くに一对の黒点がある(図3)。終齢幼虫は体長2.4~3.2mm。全身がほぼ黄緑色で、翅芽(翅の原基)に一对の黒点がある(図4)。
  - (2) 国外では、台湾、中国、インドなどに分布し、ナス、トマト、ジャガイモのほかオクラ、ワタ、ハイビスカスの害虫とされている。
  - (3) 国内では、沖縄県のオクラで発生が確認されているほか、平成17年(2005年)に東京都のナス、オクラ、ハイビスカスで本種による被害が報告されている。また、令和2年には熊本県のオクラ、令和3年には高知県のナスで被害が報告されている。

## 6 防除対策

- (1) 被害葉の早期発見に努める。オクラにおいて、本虫を発見した場合は速やかに下記登録農薬で防除を行う（表1）。
- (2) 近隣のオクラ，ナス科植物への移動を防ぐため，本種に加害された作物は，栽培終了後，速やかに残渣を処分する。

表1 オクラに寄生するフタテンミドリヒメヨコバイに使用できる農薬一覧（令和4年9月現在）

農薬の名称	使用時期	希釈倍率	使用回数	使用方法	使用液量
オルトラン水和剤※注1	収穫開始 7日前まで	1000倍	1回以内	散布	100～300L /10a
ジェイエース水溶剤※注1					
スミフェート水溶剤※注1					
ジェネレート水溶剤※注1					
アルバリン顆粒水溶剤※注2	収穫前日 まで	2000倍	2回以内		
スタークル顆粒水溶剤※注2			3回以内		
ウララDF					

注1) 同成分につき，総使用回数1回

注2) 同成分につき，総使用回数3回（散布2回以内，株元散布1回以内）



図1 オクラの被害葉



図2 葉への寄生



図3 フタテンミドリヒメヨコバイ成虫



図4 フタテンミドリヒメヨコバイ幼虫